

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ランドルフ大学 (Randolph College)	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2022年 8月 ~ 2023年 5月	記入年月日	2023年 6月 7日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: コミュニケーション学			
科目名	Global Media Society	科目名	Intro to Studio Art
授業内容	第三世界でつくられたメディア(映画、雑誌など)に目を向ける。授業前に課題のリーディングを済ませ、授業内ではそれをもとにディスカッションを行う。	授業内容	絵を描く実技授業。基本的なデッサンのやり方、水彩絵具を使った色の塗り方等を学ぶ。
授業形式	ディスカッション	授業形式	実技
単位数	4	単位数	4
サイズ	10人弱	サイズ	15人弱
難易度 Course No.	MAC 3380	難易度 Course No.	ARTS 1103
宿題の量	多い	宿題の量	少ない
コメント	アメリカに渡航してから初めてとった授業だったのもあり、毎週の課題をこなすのにすごく時間がかかった。先生や他の受講生の英語を聞き取り、話している内容を理解するのに精一杯だったが、楽しく受講した。	コメント	絵を描くのが好きなのでとても楽しかった。他の授業の課題を終わらせるのが大変だったため、この授業を受けるのが癒しとなっていた。先生もとても優しく、カジュアルな雰囲気の授業だった。日本の大学ではあまりない雰囲気かもしれない。
科目名	Race and Hollywood	科目名	Human Societies
授業内容	授業内・授業外でハリウッド映画を鑑賞し、それについて、主に人種の側面からディスカッションする。	授業内容	社会学。人間がどのように社会を形作ってきたか、事前に教科書を読んだ上で、講義を受けてディスカッションする。
授業形式	ディスカッション	授業形式	講義、ディスカッション
単位数	4	単位数	4
サイズ	10人弱	サイズ	17人
難易度 Course No.	MAC 3344	難易度 Course No.	SOC 1101
宿題の量	普通	宿題の量	多い
コメント	ハリウッド映画を人種の側面から考えるという、アメリカならではの授業だった。アジア人として自分がアメリカでどのように生きるか、ということを考えたり、それぞれの人種的マイノリティが抱える問題を学んだりした。ハリウッドの映画産業が抱える問題は、そのままアメリカ社会が抱える問題の縮図であり、実生活にとっても役立った。	コメント	課題のリーディングがとても多く、毎週徹夜して終わらせていた。先生の英語自体は聞き取りやすかったので、ディスカッションにもかなり参加でき、楽しく受講した。

科目名	Feminist Rhetorical Theories	科目名	Applied Statistical Analysis
授業内容	フェミニズムに関する資料や思想を、そのレトリックに注目して考える授業。課題資料を読んで、毎週ディスカッションとプレゼンをする。	授業内容	主に心理学専攻の学生向け。研究で使うための統計学を学ぶ。事前に教科書を読んで、授業で問題を解く。
授業形式	ディスカッション	授業形式	講義、ディスカッション
単位数	4	単位数	4
サイズ	10人弱	サイズ	20人弱
難易度 Course No.	MAC 3330	難易度 Course No.	PSYC 2227
宿題の量	普通	宿題の量	多い
コメント	人種という観点からフェミニズムを分析をすることがしばしばあり、アメリカならではの観点だと思った。課題資料を読み、かつディスカッションとプレゼンをこなすのは大変だったが、英語力を高めるのにすごく効果的だったと思う。	コメント	数字が苦手なので最初は不安だったが、楽しく受講した。数学や統計学で使うような英単語が身についた。課題さえきちんとやっておけば、十分ついていける。
科目名	Queenship in British History & Culture	科目名	Intro to Multimedia Production
授業内容	イギリスの女王制について学ぶ。授業では、主にエリザベス1世、2世、ヴィクトリアに焦点を当てる。	授業内容	PhotoshopやInDesignなど、Adobe製品を使いながら、効果的なデジタルメディアの作り方を学ぶ。
授業形式	ディスカッション	授業形式	
単位数	4	単位数	4
サイズ	10人弱	サイズ	15人弱
難易度 Course No.	HIST 3301	難易度 Course No.	MAC 1186
宿題の量	普通	宿題の量	少ない
コメント	友達が同じ授業を受けていたので、たびたび分からないことを聞いて教えてもらいながら受講できた。留学生活の後半に受けた授業だったので、かなりスムーズに課題やディスカッションをこなすことができた。	コメント	クラス自体の難易度は高くないものの、先生の話し方がかなりカジュアルでスラックが多かったので、話していることを聞き取るのに一番苦労した授業。非常に実用的な授業。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

6	<p>医療保険についてお書きください</p> <p>渡航前に加入した保険 ジェイアイ傷害火災保険 海外留学保険プラン1</p> <p>留学先大学にあった医療保険制度 大学が推薦する医療保険(自分で他の保険に入らなかった場合、この保険に入ることが必須)があったが、個人で別の保険に入ったので使わなかった。</p> <p>留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) なし</p>																														
7	<p>費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(現地通貨)</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;">渡航旅費</td> <td style="text-align: right;">362,650 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td style="text-align: right;">46,760 円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td style="text-align: right;">27270ドル 3,681,450 円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td style="text-align: right;">11430ドル 1,543,050 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td style="text-align: right;">(住居費に含まれる) 円</td> </tr> <tr> <td>その他(生徒会費)</td> <td style="text-align: right;">210ドル 28,350 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(旅費・雑)</td> <td style="text-align: right;">400,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">()</td> <td style="text-align: right;">6,282,260 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">換算率 (1ドル = 135 円)</p>	(現地通貨)		渡航旅費	362,650 円	帰国旅費	46,760 円	引越し(往復で)	0 円	保険	200,000 円	語学研修費	0 円	留学先学費	27270ドル 3,681,450 円	本学学費	0 円	教材費	20,000 円	住居費	11430ドル 1,543,050 円	食費	(住居費に含まれる) 円	その他(生徒会費)	210ドル 28,350 円	(旅費・雑)	400,000 円	()	6,282,260 円	合計	円
(現地通貨)																															
渡航旅費	362,650 円																														
帰国旅費	46,760 円																														
引越し(往復で)	0 円																														
保険	200,000 円																														
語学研修費	0 円																														
留学先学費	27270ドル 3,681,450 円																														
本学学費	0 円																														
教材費	20,000 円																														
住居費	11430ドル 1,543,050 円																														
食費	(住居費に含まれる) 円																														
その他(生徒会費)	210ドル 28,350 円																														
(旅費・雑)	400,000 円																														
()	6,282,260 円																														
合計	円																														
	<p>受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください 卒業生の寄付による派遣留学奨学金(74万円)、業務スーパージャパンドリーム財団奨学金(120万円)</p>																														
8	<p>留学前の準備について教えてください</p> <p>日本から持参すべきもの 普段使っている薬、コンタクトレンズ、生理用ナプキンなどを持っていった。また、日本食が恋しくなったとき、日本から持参したインスタント味噌汁と焼き肉のタレに助けられた。現地で着て、帰国するときに捨ててもいいような服を持っていくと、帰りの荷物が軽くなって便利。近場にあるWalmartでなんでも揃うので、持ち物に関してはあまり心配しなくてもいいと思う。</p> <p>留学前にしておけばよかったこと なし</p>																														

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>特別適応しにくかったことは、学習面ではあまりない。最初はもちろん、英語を聞き取ったり課題を終わらせたりするのに時間がかかったが、徐々に慣れた。ある程度自分の能力に対して諦め(英語が第一言語ではないのだから、聞き取れなくても仕方ないや……)ていたこと、留学生生活を理想化しすぎていなかったことがよかったのだと思う。生活面でも割と順調に適応していたかな?と思う。ただ、油っこい食事が多く空気が乾燥しているためか、留学前半はよく顔の肌が荒れていた。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>授業中にしろ、旅行中にしろ、分からないことはなんでも、躊躇なくその場で聞く力がついた。大体のことは聞けば誰かが教えてくれるし、結果的に分からなくても、それなりになんとかなることを学んだ。完璧ではない自分を許すことができるようになった。また、「相手の気持ちを察して行動する」文化圏ではないため、基本的には言葉に出していることが全てで、個人的にはストレスがなくてよかった。日本に帰ってからも、相手の気持ちを深読みして、勝手に精神を病むということはなくなったと思う。さまざまな文化、生き方で暮らす人々を見て、自分の人生に対する可能性が広がり、精神的に生きやすくなったと思う。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>卒論を書いて、大学院(可能なら博士課程まで)に進む予定。博士課程で再び留学したいな……とぼんやり考えている。専攻のコミュニケーション学はもちろん、副専攻の翻訳学もさらに勉強したい。留学で学んだアメリカ的な価値観が、翻訳においてもかなり役立つだろうと思う。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学先に来ると、周りの誰ひとり自分を知らない環境に置かれることになります。それまで日本にいた時の自分を一旦忘れて、留学先で新しく自分のアイデンティティを形作っていくことは、心細いことでもあります。それ以上に、信じられないほど楽しいです。留学を考えている方がいられたら、ぜひ思う存分楽しんでほしいなと思います。ランドルフ大学は津田よりも小規模で、都心の大学のような華やかさはないかもしれませんが、小規模なぶん友達もつくりやすく、また自然が多く癒される環境です。自信を持っておすすめします。ご質問などあれば、お気軽にご連絡ください!</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>毎日が充実していて、あっという間の留学生活でした。この経験はかけがえのないものです。サポートをしてくださった友人たち、先生方、また奨学金の申請や出願等あらゆる場面でお世話になった国際センターの方々、本当にありがとうございました。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



←春節、友人と外食

My Taiwanese father and mother(母の日)→



←友人のお父さんの卒業式

WBC決勝！ありがとう大谷翔平→

